

## 令和2年度第1回総合教育会議 会議録

- 1 日 時 令和2年8月19日(水) 午後2時30分 開会
- 2 場 所 東松島市役所 本庁舎3階 301会議室
- 3 出席者 東松島市長 渥美 巖  
東松島市教育委員会 教育長 志子田 美弘  
東松島市教育委員会 委員 木村 和彦  
東松島市教育委員会 委員 福田 ゆかり  
東松島市教育委員会 委員 鹿野 あい子  
東松島市教育委員会 委員 松岡 勝久

### (事務局)

東松島市副市長	小山 修
東松島市総務部長	奥田 孝信
東松島市総務部総務課長	勝又 啓普
東松島市総務部総務課秘書広報係長	安倍 千穂
東松島市教育委員会教育部長	小山 哲哉
東松島市教育委員会学校教育管理監	相沢 進
東松島市教育委員会教育部教育総務課長	八木 繁一
東松島市教育委員会教育部生涯学習課長	柏木 淳一
東松島市教育委員会教育部教育総務課指導主事	平塚 輝
東松島市教育委員会教育部教育総務課指導主事	堀之内 優樹
東松島市教育委員会教育部教育総務課長補佐	高野 裕行
東松島市教育委員会教育部教育総務課教育総務係長	木村 薫
学校給食センター所長	阿部 智浩

### 4 傍聴者 6名

総務課長(司会) それでは定刻になりましたので、ただいまから令和2年度第1回東松島市総合教育会議を開会いたします。開会にあたりまして、渥美市長よりご挨拶を申し上げます。

市長 皆さんご苦勞様でございます。令和2年度第1回東松島市総合教育会議ということで、委員の皆さんにお集まりいただきまして、誠にありがとうございました。

今、コロナ禍の対策が一番の対応となっておりますが、3月2日から23日までの、本来勉強をやるべき期間、授業が出来なかったということでその間の11日間の問題、4月になってからは、4月15日から5月24日まで休んでおりまして、これが24日間ほど、現実的には授業が出来なかったとなっております。それらについて、私の選挙公約でも、皆さんに認めていただいたのは学力向上ということでありまして、学力向上について、少しでも県平均にまずは近づけるように、そして全国平均に近づけることが、それだけではないとよく言われますけど、そういう一つの基準でも、標準以上はいつておかないとまずいのではないかと、というのが私の考えです。

一昨年は夏休みを4日間短縮させて、委員の皆さんに賛同いただいて行いました。しかし、今年

はこのようなコロナの関係でそういう計画が出来なかったのですが、しかし、管内の中でもうちの方は、例えば5月25日あたりからは、また新たに授業を再開して、石巻は6月1日からスタートしており、うちは一週間前から授業に入っていたという事で、そういう面でもやはりその授業時間の確保が出来たのではないかと考えております。今日で子供たちにとっての楽しい夏休み、最後の今日だったわけですが、しかし、プールなども含めて隣の石巻ではプールの授業はしないという状況の中で、本市は教育長に私の方からもお願いして、東小もたまたまプールが完成したということもありまして、やはり3密対策をして、子供たちに楽しいプールをやってもらうような方向、そして、最終的には水に浮くことは、命を守ることに繋がるがあるので、そういう方向でこれまで進めてきたところでございます。そういう面でプールの方も東松島市は順調に行われたとっております。

9月3日からは、本市の9月定例会が開催されます。ここには、赤井南小学校の増築工事がございます。3階建一部やりますから、それらの工事請負の契約、議会承認などがありますので、そういうものも含めてハード事業を進めていきたいと思っておりますし、実はGIGAスクールと言って文科省の、今日、後で協議事項を出しますが、だいたい1人1台の端末を持つという事で、東松島市では、約2200台～2300台買うわけですが、全体としては2億8,000万円位の予算をつぎ込んでおります。これは、文科省の本来の補助と合わせて、総務省の内閣のコロナ感染関係対応の地方創生臨時交付金を少し充てています。文科省の補助と残りの分は、本当は、半分くらいはそちらから出ますが、その分は臨時交付金、コロナ対策の急遽臨時議会を開いて、約2億8,000万円位、予算化していますが、何故そんなに急いだかという、たいいていの所は9月から始まりますが、これは全国一斉なものですから、端末そのものがなくなってくるのではないかと、後になればなるほど、工期内に完成するのが厳しい状態です。うちの方のGIGAスクールは、だいたい1月から2月頃に来るのではないかと考えておりますので、そういう流れで進めたいと思っております。

私とすれば、常に管内の中で、学力の面も含めて、本来のうちの方の行政サービスの中で、義務教育という問題について、出来るだけ父兄負担を少なくするような方法で、市の予算として付けるべきものは基本的には付けていこうというのが私の考えでありまして、それは教員の皆さんにとっても働きやすい環境とか、そういうものを我々は何とかしたい。そういうことによって、私の考えとすれば、東松島市で教えることが非常に先生達も楽しいし、そして、成果が上がるような対策が出来ているとなれば、手を挙げて、良い先生が東松島市にどんどん入って来るのではないかと考えておりまして、そういう面では教育長の方と連携を取りながら、子供たちの予算については、今まで、管内でも充当は非常に早くやってきているのではないかと考えています。合わせて環境の中でも、お陰様でエアコンについてはすべて対応済でございますから、後はICT環境、様々な電子黒板とか、そういう物を使ったものも、私も現場で、この間も教育長さんとは2回ほど行って、学校給食の状況とかも見て来ましたけど、そこに行ってみると先生方も一生懸命そういう新しい機具を使いこなして、子供さんたちも非常に関心を持って授業に臨んでいる姿が見えてきましたので、なんとかそういうものを最大限に市として、子どもたちのための教育になるように力を付けていきたいと思っております。

もう一つの課題は、やはりどうしても学校を長く休むとか、いろんな事があると、不登校がどうしても出てきて、私も選挙公約の中で不登校対策をやっておりました。これまでも、東松島市子どもの心のケアハウスという形で、矢本駅前の施設で、子供の居場所を作っていますが、出きるだけ不登校対策をしっかりとOBの先生方に来ていただいて対策をしています。あとは、これから我々の声を教育委員会に、市としての意見を皆さんに入れてもらうように、そして教育委員皆さんの声を聞いて、私が予算にその政策を反映できるようにすることが、非常に大事だと思っております。

すので、今日のこの会議はぜひ行政側の考えと、そして、教育委員さん側の意見交換等々を十分に  
して進めていきたいと思っております。なお、本来であれば東京オリンピック2020、今が最高  
今後はパラリンピックと移っていく時期でしたが、残念ながら3月20日に到着式までは来まして、  
その時、それを記念してスポーツ健康都市の宣言は出来ましたけど、その後のコロナの状況が悪化  
しまして、現在それ以降の人を集めるとというのがなかなか難しい状況で、そこまで行ってない所  
もありますが、ぜひ、オリンピックについては来年開催出来ればいいと思っておりますし、コロナ  
についても、今日です。石巻保健所の鈴木所長さんに、今日で34回目の本部会議もやっておりま  
すが、その中の一環でやりましたが、今日も学校関係の養護の先生や保健の先生にも来ていただい  
て、コロナの基本的な研修、対策を皆さんでやっていただいております。こういうのをやって  
いるのもおそらく管内ではうちだけだと思いますが、コロナ対策ということ、学校から出さない  
ように、出してしまうとどうしても学校を閉鎖しないといけない状況になりますから、それは全力  
でまずはコロナ対策をしていきたいと思っております。今日は報告事項が3件、協議事項が2件あ  
りますが、どうぞよろしく願いいたします。

総務課長（司会） それでは早速議題の方に入らせていただきます。今、市長のご挨拶にもありまし  
たように、報告事項が3件、協議事項が2件となっております。総合教育会議運営要項第4条第  
2項の規定によりまして、市長に議長をお願いして進めてまいります。それでは市長よろしく願  
いいたします。

## 5 議 事

市長（議長） それでは早速、議題に入りたいと思います。まず初めに（1）の報告事項①コロナ禍  
における学習保障について事務局から報告をお願いいたします。

<（1）①コロナ禍における学習保障について学校教育管理監より説明>

市長（議長） ありがとうございます。只今の報告に対し、何かご質問はありませんか。  
はい、木村委員。

木村委員 今回の報告の中のプールの事ですが、水難事故の防止の観点からということで水泳の授業をや  
られているということで、先日白石川で中学生が水難事故に遭われたということで、具体的に、もし  
どのような教育がなされているのか、分かれば教えていただきたいと思っております。

学校教育管理監 水泳の学習は泳ぐだけじゃなくて、水の事故防止ということでプールの中だけではな  
く、座学の部分でもどんな事に気を付けたらいいかというような指導を行っています。なお、今年度  
はどうしても密にならないようにという事で、学年ごとではなく学級ごとにプールに入るなどをして、  
回数は少ないですが、先ほどお話をさせていただいた通り、実技だけではなくて机の上で勉強すること  
も行いながら、水の事故防止に努めて参りたいと思っております。なお、各学校でも着衣水泳を行って  
います。

市長（議長） その他、委員さんありませんか。せっかくの機会ですからどうぞ。なければ、次の報告  
事項②小・中学校連携教育について事務局から報告をお願いいたします。

< (1) ②小・中学校連携教育について学校教育管理監より説明>

市長（議長） ありがとうございます。只今の報告について、ご質問はありませんでしょうか。はい、松岡委員。

松岡委員 コロナ禍の中大変負けずにいろんな連携をする、素晴らしいことです。子ども未来サミットについて、YouTube 限定動画配信を試されたということで、だいたい実数はどれくらいあったか。

市長（議長） では相沢さん、お願いします。

学校教育管理監 だいたい270から80位の方々にご覧いただいたことになります。

松岡委員 限定ということで、もうたぶん見られないでしょうけど、それでも告知したことによって、270から300位の方が保護者と生徒の皆さんがちゃんとコロナ禍でも見られたということで、非常に実績があったのではないかと思います。

市長（議長） じゃあ、教育長さんどうぞ。

教育長 今回コロナ禍の制限というマイナスの状況の中で、それをゼロにしたのではなく、私はプラスの取り組みだったと大変思っています。持論として、スマホなんかは馴染んでしまっただけでは遅いと思っています。持つ前の幼児、低学年、幼稚園の子どもたちの保護者に正しい理解をしてもらうのが、大変大事だと思っていて、そういう意味で今回270、80ですが、見てもらう機会を作れたのは大変良かったと思っています。今回いわゆるアカウントが少し長くて、入れるのが少し大変だったというそういう反省もあって、もう少し改良、もっと簡便に入れるようなことも工夫出来るので、こういう方法で広くオンラインという方法も使いながら、広く取り組みを広げていきたいと改めて思っています。

市長（議長） 私も第1回の東松島子ども未来サミット、議員さん達や、議長はじめ参加していただいたわけですが、親からのしつけや先生方からのしつけだけではなく、子どもたちがそれぞれ4、50人参加して、先輩の中学生が入って一緒に研修発表するというのは今までにない取り組みだと思います。そういう面では、今教育長さんが言ったように、マイナスのこういう時期の中でもこれだけやれたというのは、私は非常に高く評価していますし、また、講師をしていただきました瀧靖之先生も非常に本市の子ども達の発表能力や聞く態度が、教育長さんから言われましたが、非常に高い評価をいただいたということで、そういう面で非常に良かったと思います。これも、ゲーム等の時間の問題など、これが大きな問題ですが、これが1回きりではなく続けて毎年このようなことはしていくべきだと思っております。そういうことで教育委員会と進めていきたいと思っております。

市長（議長） その他に有りませんか。なければ次の③給食費の値上げに伴う対応状況について事務局から報告をお願いいたします。

< (1) ③給食費の値上げについて教育部長より説明>

市長（議長） これについて、何か質問はありませんか。はい、松岡委員。

松岡委員 栄養価についてお聞きしたいです。国の基準がすごいハードルが非常に高いという話を聞いたことがあります、この改定した価格で、非常に低価格ですね、やっぱり、これを充足させるのが可能かどうかという見解を、なかなかこれを全部達成するのは非常に難しいハードルだと思いますが、他と比べると東松島市のこの充足率はどうか併せてお願いします。

市長（議長） はい、では事務局。

学校給食センター所長 今のご質問ですが充足につきましては、議会等でも質問がありまして、おおむね8割は越えていると回答はしているものですが、他の県内14市を私の方で調査いたしまして、令和元年度分で実際充足していない栄養価につきましては、だいたい4項目以上他の市だと充足していない市がほとんどですが、東松島市におきましては、小学校だと2項目ということでありますので、他の市に比べると栄養価的には充足しているかと思えます。今後この充足につきましては、今年度給食を値上げしているところもありまして、あと、今年度地方創生臨時交付金を活用することで、なるべく充足に活かせるようなかたちで栄養士と調整して献立の方を改善していきたいと考えております。

松岡委員 つまり、最大の目標値であって、絶対なきやいけないものではない。おおよそを見ると最大で10%位ですか、守備範囲ということで考えてよいですか。

学校給食センター所長 給食センターとしてはそう捉えています。

市長（議長） この給食費はよく安ければいいと言う人もいますが、私は全く真逆だと思っています。これ以外に市でいくら出している管理費、指定管理の。

学校給食センター所長 運営費の方は1億7,000万円位出しています。

市長（議長） それは安い材料を使おうと高い材料を使おうと、その経費は全くほとんど変わらない。私としては出来るだけ良い物を、その1億数千万は必ず掛かるわけだから、良い物を出してあげた方が子どもたちや生徒にとって、出来れば地場産品もふんだんに取り入れてやってくれという考えです。今回500万程コロナの関係で国からのお金を、それを10円なり9円上げてはいるが、必ずしもこの数字が逆に今までの消費税とかさまざまな運送費とかで上がっているものだから、材料費と合わせて、ストレートに10円や9円にっていない状況もあるので、今回500万円をこちらに、国のお金を充当して、地域の食材、地場産品をそういう活用事業してもらうかたちであえてやっているのです、今まで以上に。鉄分は、子供たちがあまり好まない物が多いでしょう。ヒジキとか。

学校給食センター所長 そうですね、ヒジキとかほうれん草など野菜ですね。

市長（議長） ほうれん草は地元がたくさんあるからね。そういう形でぜひ、頑張ってもらいたい。今

の問題は皆さん他の委員さん、学校給食についてありませんか。

木村委員 私は残食についてお伺いしたいのですが、平均9.94%というのは多いのか低いのか比較するものがないので、全国的なもの、宮城県内ではどうなのか、もし、分かれば教えていただきたいと思います。

市長（議長） それでは残食の問題、はい、阿部所長。

学校給食センター所長 まず残食の問題につきましては、残食率の出し方につきましても様々な出し方がありまして、同じような形で出している所は少ないです。ある給食センターにおいては、半年に1回とか、そういった形での残食を算定している所もありまして、国の方では残食率7%で見ているようですので、うちの方としては10%を切っているのでもいいのではないかと考えております。

市長（議長） これも、学校に行って、残食が少なくなるように栄養士さんが説明をして、いろいろやっているのではないか。

学校給食センター所長 栄養士の方で年に3回、1学期2学期3学期ということで各小中学校の児童生徒を対象に、栄養指導といいますか、各学年に応じた食事を指導するというところで行っております。その中で残食につきましても、担任の先生を含め、なるべく改善するような形の内容のものを、学校の方にお話しているところです。

市長（議長） ようするに、今は作っている人の苦勞もよく知って、作物作る人の苦勞も教育の一環だから、無理やり食べさせることではないが、そういう経緯経過なども見ながら食べてもらえれば。あまりこの残食率としては、本当は5%くらいで、学校にもだいぶ波があると思う。残食の少ない学校があるのではないか。

学校給食センター所長 残食の少ない学校は宮野森小学校と未来中学校の2校です。

市長（議長） 宮野森と未来、鳴瀬地区いいですね。いいですか、この学校給食について。  
はい、鹿野委員さん。

鹿野委員 今回は新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金が500万円出たということで、市内の農水産物活用による児童・生徒応援事業が出来たのですが、市内の農産物は多種多様あるということで、たくさんありますので、地域の食材は使ってほしいと思いますし、また、素人の考えですが値が高いからといって栄養価が高いかというのはまた違うのかと思うところもありますので、そういう所も考えながら、ぜひぜひ地元の物を使ってほしいなと思います。

学校給食センター所長 その点につきましては、農協さんの方にもお願いしてまして、今は主に4品、長ネギであったり小松菜であったり、きゅうりを活用させていただいていますが、その他にも市内産がございますので、そういった物を給食の方で取り扱えるようなかたちで農協さんの方と協議して今後使えるようなかたちに持っていきたいと思います。

市長（議長）例えば、海苔とか牡蠣、海のものまさに東松島の特産だから、この500万の中で農協だけではなく漁協の方達も入れて、やっぱりいい物を地場産品として出してほしいです、市長とすれば。

学校給食センター所長 海苔につきましても、実は栄養士の方に献立を作ってもらえるような形でお願いして、例えば、のりうどんであったり、そういったものも出せるような形で考えています。

市長（議長）海苔とか牡蠣とか、うちの方でさっき言った、ほうれん草とかネギとか共販しているくらい、いい物がたくさん東松島には農産品は多いですよ。ぜひ活用してほしいと思います。よろしいですか、皆さん。では、ここで、報告については終わりたいと思います。次に協議事項に入ります。①GIGA スクール構想について事務局から説明をお願いいたします。

＜（２）①GIGA スクール構想について教育総務課長より説明＞

市長（議長）只今の GIGA スクールのことについて、担当課長より説明がありました。委員の皆さん何かございませんでしょうか。はい、木村委員。

木村委員 これからの社会を見通し、すごく大事なことだと思っておりますが、故障した場合、子供さんが落として壊してしまった場合の補償はどうなっているのかということと、心のケアハウスの方はこの台数に含まれているのかお伺いしたいと思います。

教育総務課長 今回いろいろな事を想定しまして、すべて購入代金の中に壊れた場合、故障した場合にすべて取り換えて良いという契約の仕方もありましたが、相当金額が高くなることもあって、そうであれば、壊れた際に新しい物に取り換えた方が良いだろうという判断をさせていただきました。そういった中で、予備の部分もありますので、まずは、壊れた場合の物に対しては、予備の物で対応して参りたいと思っております。2番目の心のケアハウスにつきまして、今回の部分には入っておりませんが、今お話した予備の部分である程度対応できると思っております。

教育長 1人1台ですから、その中に当然入っています。

市長（議長）だから壊しても子供に負担させるということはないという事です。その他にありませんか、委員の皆さん。はい、福田さん。

福田委員 納品の件ですが、何度かに分かれて納品されるという事ですが、それは学校ごとになるのか、それとも学校関係なく学年ごとになるのか、不公平感のないようにしていただければと思います。

教育総務課長 導入につきましては、学校ごとになります。

福田委員 そうすると何か月という開きが出ると思いますが、早く導入した学校と後の方になった所の時間差があるので、学校の方とか、先生方がちゃんと納得されているならいいですが、ちょっと差があると、私はどうなのかというのがありまして、あまり開きがないならいいですが、結構あり

ますよね。

教育総務課長 入札になりますけども、落札した業者の方には、例えば納入期限というのが当然ありますが、その中でも前倒しで納入出来る場合については、早めに納品していただくように、当然お話しはしたいと思いますし、なるべくそういった学校間の中で開きがないように進めて参りたいと思っています。

市長（議長）その他にありませんか。はい、松岡さん。

松岡委員 まさに、クーラーの設置とそして Wi-Fi の設置が終わって、これを予期したかのような GIGA スクール、素晴らしい対応で早い所では3学期から使えるという事でそれについて質問ですが、各学校の使い方のガイドラインがちゃんと整備されているのか、それはある程度あって学校の方に任せるのかどうか、まずお聞きしたいのと、これは不登校対策になると思いますが、自宅からオンラインで授業を受けられるようなシステムを作ることは考えていらっしゃるのか教えてください。

教育長 ガイドラインですね。1人1台のタブレットというのは、今回この GIGA スクール構想ですが、今まで学校にタブレットがなかったかという、そうではなくて、1クラス分位のタブレットはこれまで入れていただいています。そのタブレットを使っての授業はこれまでもやっています。今度それが全部のクラスが、同じ時間に一齐にやる事になって、タブレットを使った各教科の授業を今までやっていなかったかというのではなく、いろんな単元をいろんな学年でやってきてはいます。その中で、ある程度授業研修の中で、いろいろな事をやってきています。やはり、日進月歩使い方というのはありますから、道具の使い方、道具ですよ、もう文房具ですね。使い方の研修というのは、これから日々やっていかなければならないですし、その計画も立てています。

学校教育管理監 今、教育長が話したように、8ページの3-1のこれまで実施している ICT の活用方法ということで、様々な活用をしています。ただ、まだやれていない、今後やりたいなということに関しては、月に1回程度の研修会を開きまして、そこで教職員の理解を深めて授業等で活用できるように進めていく予定になっています。

教育長 それを今視野には入れています。つまり、いろんな学びのパターンとして不登校等も視野には入れています。この間実は、先ほどの定例教育委員会でも話しましたが、ケアハウスで終業式にオンラインで参加しました、中学生が。子供によってはそれでやるという子もいますし、非常にケースバイケースですよ、デリケートな子供たちですから。だから、いろんなケースに応じて用意は出来るという、そこの準備は進めようと思っています。今度の始業式についてもやろうと思っています。ただ、残念ながら始業式だと早い時間なので来ていない子もいて、いろんなケースがあります。見たい子もいるし、見たくない子もいるし、その選択肢として、教育委員会が揃える選択肢としてはいろいろな事が出来るようにしていこうという思いは確かにあります。

市長（議長）よろしいですか。その他ありませんか。ここでこの部分については終了して、協議事項②東松島市子どもの心のケアハウスについて説明をお願いします。



< (2) ②東松島市子どもの心ケアについて学校教育管理監より説明>

(各委員質問等特になし)

市長（議長）ありがとうございました。只今の東松島市子どもの心のケアハウスについて、ご質問、委員の皆さんありませんか。では、これを持って私の議長の職を解かせていただきたいと思います。ご協力ありがとうございました。

総務課長（司会）ご苦勞様でございました。それでは閉会となりますが、特に言い残したことはございませんか。その他となりますが。

木村委員 ちょっとその他でよろしいでしょうか。東松島市の文化遺産の活用方法について、ちょっとお伺いしたいと思います。去年、赤井遺跡からすごい遺品が出土されたり、市民憲章の中にも、「ふるさとの歴史と伝統を受け継ぎ未来に誇れるまちにしましょう」という一文がありますように、文化遺産をもう少し市民の方が分かりやすいというか、情報を取り入れるにしてもちょっと難しい状態だったり、もう少し活用できないのかと思っていて、先ほどの GIGA スクールの中にもタブレットがありましたので、そういった情報がすぐ閲覧出来て、子どもたちもふるさとを思い起こすために、簡単なホームページの中にもでも作っていただければいいのかなと思っていますが、市長のお考えがあれば。

市長 私とすれば、まさに赤井遺跡なんかは古代の浪漫ですね。当時どういう状況だったのか牡鹿の柵だったとか諸説はありますが、そういう中でも2年位前ですか、調査現場から新たに出まして、これは素晴らしい物だと言われております。ぜひ、議会等でもそういうものを活かせるようにという質問もありまして、今後赤井地区を含めて、どのように活用していくか、国の補助事業等でも今考えているところで、そういうものも含めて、うちの方には、宮戸には縄文遺跡という素晴らしい財産がありますから、そういうものをしっかりと活かせるようにしたと思っています。では、担当の課長。

生涯学習課長 今、文化庁、それから文化財課になっておりますが、3年前までは文化財保護課ということで、文化財課の方に活用班というのが設置されて、今までは保護一辺倒でしたが、掘るだけではなく掘った物を観光など活用して人を集客する、そういったものにどんどんシフトしていきなさいという事になっております。うちの方、今の文化財係ですが、係の体制としては、やはり掘って文化財を啓発するという体制、プラス縄文村の展示ということの体制になっております。宮城県ではまだ例が少ないですが、岩手県とか秋田県では、文化財部門が教育委員会から観光部門と一緒にあって、文化観光課みたいなかたちになり、保護の部分と観光の活用部門と一緒にあって、各市の観光と歴史遺産をリンクさせる、そういったこともやっております。本市としても、そういったことも含めながら、縄文村もオルレを活用した啓発活動をやっておりますけど、やはりちょっと単発気味であるのは否めませんので、継続的なそれから、より集客を求める政策的なものも今後求められていくのかと思います。

市長 市民に分かりやすく、また市報等も通じながらまた進めていきたいと思っております。

総務課長（司会） その他の項目、他に何かございませんでしょうか。はい、鹿野委員お願いします。

鹿野委員 教職員の皆様には働き方改革と言われる中で、コロナという見通しがたないウイルスが発生したことによって、また業務が非常に山積みになっているかと思いますが、教職員の皆様の健康が、子供たちの学習の興味をそそり、そして学力にも繋がりますので、ぜひ上手く休みを取る、または気分転換してぜひ健康で仕事に専念していただきたいと思います。よろしく願いいたします。

市長 教育長さん何か。

教育長 ありがとうございます。このコロナがなくても、いわゆる学校の働き方改革というのは、本当に喫緊の課題だと言われている中で、今回これが起きて大変な状態です。今、国の予算措置で人を入れてもらったりしていますが、引き続き教員の意識改革の部分もあります。なんぼでもやりますから教員って。良く言えば際限ないですね、そうじゃなくて、圧縮しようみたいな所の意識改革みたいなものもしながら働こうと、働き方は子供たちの教育環境だよという話もしながら、適正な改善を図っていけるように頑張りたいと思っています。そういったご指摘を頂くことは、学校にとっては大変ありがたいです。

総務課長（司会）他にありますか。よろしいですか。それでは、定刻予定の時間になりましたので、本会を閉じさせていただきます。閉会にあたりまして、志小田教育長からご挨拶をお願いいたします。

教育長 市長さん、貴重なご意見をいただきました。改めて感謝申し上げます。ありがとうございます。この4月からですね、校長会教頭会で繰り返し同じことを言っておりますが、それは、子供たちの健康を守ることと教育を守る、これを両立させましょうという事をずっと言ってきています。言うほどに簡単ではなく、なかなか大変ですが、両立させようという話をずっと言ってきています。明日から、いよいよ2学期のスタートで、2学期は運動会が計画されていたり、今なおいろいろ検討している修学旅行があったり、文化祭、今日ちょっと午前中に保健所で話題になりました合唱コンクールをどうしようとか、さまざまその両立を図るための知恵、場合によっては中止もやむを得ない判断になるかもしれないが、そういう時期になります。イレギュラーな年の秋ということになります。これも先生達にも言っていますが、震災の時もそうでした。大変さも教材にしましょうと、大変さも教材にしながら、子供たちに何を考えさせて、何を感得させるのか考えながら、特別活動も大事にしながらやりましょうという話をしています。大変ですが、工夫しながら実りある2学期になるように努めていきたいと思っています。今日はありがとうございました。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

総務課長（司会）ありがとうございました。それでは、以上で令和2年度第1回東松島市総合教育会議を終了いたします。大変ご苦勞様でございました。

6 閉会 午後3時46分